

## 「論語と算盤」とSDGs

### 1 企業の社会的責任とは？

自由市場主義の父・資本主義と闘った男・日本の資本主義の父



### 2 ステーホルダー資本主義と合本主義

銀行は大きな河のようなものだ。銀行に集まってこない金は、溝に溜まっている水やポタポタ垂れている滴と変わらない。折角人を利し国を富ませる能力があっても、その効果はあらわれない。

(第一国立銀行株主募集布告)

### 3 「と」の力 サステナビリティ インクルージョン

論語と算盤：『合理的の経営』

その経営者一人がいかに大富豪になっても、そのために社会の多数が貧困に陥るようなことでは、その幸福は継続されない。



論語と算盤：『論語と算盤は甚だ遠くして甚だ近いもの』

正しい道理の富でなければその富は完全に永続することができない。

従って、論語と算盤という懸け離れたものを一致させる事が

今日のきわめて大切な務である。

### 4 SDGs の5つのPと5つの原則

People Prosperity Planet Peace Partnership

普遍性 包括性 参画性 統合性 透明性

### 5 アフター・コロナの常識とは何か

論語と算盤：『常識とはいかなるものか』

『智』、『情』、『意』の三者が権衡を保ち平等に発達したものが完全の常識だと考える。

### 6 よいお金の使い方 ～ ME から WE へ

論語と算盤：『よく集めよく散ぜよ』

真に理財に長ずる人は、よく集むると同時によく散ずるようであらね。

### 7 インパクト投資 ～ 現代的「論語と算盤」

社会的インパクトと経済的リターンの両立

インパクト・メジャーメント (測定)

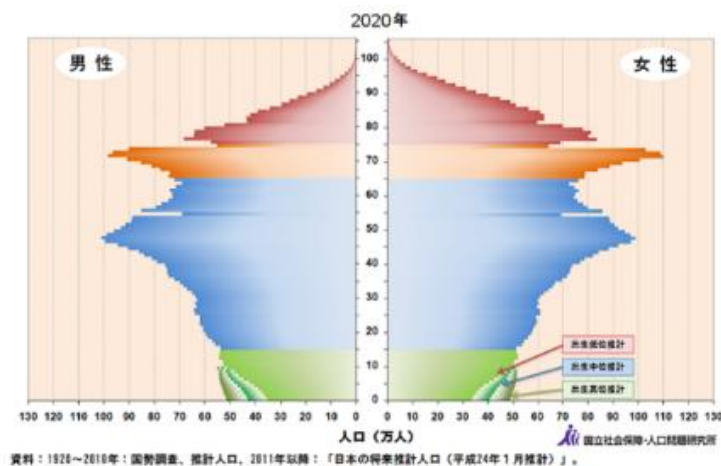
<https://iris.thegiin.org/>

Impact Weight Accounts <https://www.hbs.edu/impact-weighted-accounts/>

## 「論語と算盤」と SDGs

### 8 時代の節目を迎える日本

アフター・コロナの Beyond 2020



#### 渋澤 健

シブサワ・アンド・カンパニー株式会社代表取締役。commons投信株式会社取締役会長。1961年生まれ。69年父の転勤で渡米し、83年テキサス大学化学工学部卒業。財団法人日本国際交流センターを経て、87年UCLA大学MBA経営大学院卒業。JPモルガン、ゴールドマンサックスなど米系投資銀行でマーケット業務に携わり、96年米大手ヘッジファンドに入社、97年から東京駐在員事務所の代表を務める。2001年に独立し、シブサワ・アンド・カンパニー株式会社を創業。07年commons株式会社を創業（08年commons投信㈱に改名し、会長に就任）。経済同友会 幹事およびアフリカ開発支援戦略PT副委員長、UNDP（国開発計画）SDG Impact Steering Group 委員。東京大学社会連携本部シニアアドバイザー、著書に『渋沢栄一 100の訓言』、『SDGs投資』、『渋沢栄一の折れない心をつくる33の教え』他。